

活動レポート

リージョナルステート研究会

自然科学教育分科会の活動報告

本分科会が4月から9月までに実施した活動と、今後の活動予定について報告いたします。
(担当者敬称略)

1. 上半期の活動報告

■どンドン育てノさつまいも（寿都町）

担当：山田梢恵、北越正生、小林千裕、伊藤和人
対馬一男

6月6日午後から、地元の小学生10名と寿都小学校の畑に5種類のサツマイモを植え付けた本サポートは、今年で4年目になります。天候が良くなかったため、慌しい植え付けとなりましたが、作業後は体育館で紙芝居による楽しい授業を行いました。クイズや苗の観察、手作りシールのプレゼントが好評でした。

■定山溪中学校

担当：山崎淳、人見美哉

6月25日に定山溪中学校の1年生を対象に「私と定山溪」というタイトルで定山溪周辺のインフラや豊平峡ダム・定山溪ダムの役割について講義しました。当校では毎年ダム見学を実施していますが、本授業は事前に知見をフォローするためのものです。

2006年（平成18年）から継続依頼されている授業で、今年で4年目となります。生徒数は年々減少し、学校の存続問題も浮上してきていますが、学校が存続する限りサポート授業は続けたいと考えています。

■月寒川にぎわい川まつり

担当：鳥谷部晃綱、安部文規、板谷利久、鈴木雅人
西村勲

本イベントでのサポートも今年で5年目になります。環境学習として自転車と水車で電球を点灯させる公開実験を行いました。環境体験は午前・午後の各1回20人の子どもたちと魚を採りながら、約1時

間半をかけて月寒川を探検しました。



■寿都町サバイバルキャンプ

担当：板谷利久、山田梢恵、人見美哉、小林千裕
北越正生、伊藤慶司、伊藤和人、対馬一男

今年で6年目を迎える寿都町教育委員会主催のキャンプは8月6～8日に行われました。私たちは2日目から一泊二日の行程で寿都町に出張し、出前授業を行いました。参加した地元の小中学生は17名です。

初日は板谷講師による「合い言葉は、貝化石を探せ！」です。朱太川支流添別川沿いの地層に埋まっている貝化石を、自分たちの手で掘り起こしましたが、化石掘りを初めて体験する児童が多かったようで、時間を忘れて熱中していました。

夕食後は、山田講師による「ラムネ&グミづくり」です。ゼラチンと水飴を使ってグミづくりに挑戦しました。型に入れたグミを冷蔵庫で冷やしている間に、重曹・クエン酸・ブドウ糖でラムネを作りました。できあがったラムネで元気に乾杯をし、グミの試食会となりました。

実験後の就寝前には伊藤講師によるギター演奏会が行われました。一日の疲れを癒す優しい音色に、

子どもたちはぐっすり眠れたことでしょう。

二日目は人見講師による文鎮づくりです。当地で産出する安山岩を手ごろな大きさにカットしたあと、耐水ペーパーで各自研磨しました。できあがった文鎮はキャンプの参加記念品になりました。その後、夏休みの自由研究として提出した児童もいたようです。



■清田区民シニアスクール

担当：増田博昭、若松幹男、板谷利久

清田区が主催する60歳以上の方を対象とした生涯教育です。毎週水曜日に三里塚小学校に20名の生徒さんが集まり国語、社会、音楽などを学んでいます。技術士会の担当教科は理科です。

7月22日は増田講師による「安全・安心を目指した自然災害に対する防災と減災」でした。洪水災害や地震災害に立ち向かう姿勢や減災の考え方、特に自助・共助・公助について講義しました。

8月19日は若松講師の「支笏火山と清田の火山灰」でした。支笏火山の噴火史や噴出物の広がり、清田地区に分布する火山灰の物性やボーリングデータを説明しました。また、氏がガイドを務める「苔の洞門」の紹介もなされました。

■SCOT事業

5年生担当：北越正生、板谷利久

6年生担当：対馬一男

科学技術振興機構(JST)が推進する事業でサイエンス・コラボ・ティーチャー(理科支援員等配置事業)と称されるものです。小学5・6年生を対象に特別講師として教壇に立ち、理科授業を行います。

8月28日に筆者が寿都小学校の6年生に「液状化

のペットボトル実験」を行いました。9月4日は北越講師と板谷講師が寿都小学校の5年生に「川の授業」を行いました。



■定例分科会

教育サポートの予定や報告を中心に2か月ごとに開催しています。今年は4月17日、6月19日、8月21日に開催しました。

2. 今後の活動予定

■さつまいも収穫祭(寿都町)

10月17日は、6月に植えたサツマイモの収穫祭です。畑のイモを子どもたちと掘り起こしたあとは、楽しい試食会です。余ったイモはお土産として持ち帰ります。

■清田区民シニアスクール

シニアスクールへの出前授業は全5回ですので、残り3回の授業があります。予定されている授業と担当者は以下のとおりです。

10月14日：松浦清

「森林の働きと環境」

11月4日：油津雄夫

「生物の多様性と人類の生活～砂漠化・熱帯雨林・日本の現状から考える」

12月9日：堀岡和晃

「環境について」

■定例分科会

今後の定例分科会は10月、12月、2月に開催を予定しています。

(文責：研究会副代表 対馬 一男)